



No. 10 / 44

有脇小学校校長だより

2020・9・15

## 正直に生きることもかっこいい

「正直に生きる」ということは、本当に難しいです。ついつい“うそ”をついてしまうことがあります。「しかられるのがいやだから」「だれも見えていなかからだいじょうぶ」「自分一人ぐらい」「みんながやっているから」「だまっていればばれないですむ」・・・どれもただの言い訳です。一度うそをついたり、失敗を隠したりすると、いつの間にか平気でうそをついたり、失敗をかくしたりするようになります。うそをついたり失敗を隠したりすることは、すごく疲れると思います。だから、正直に生きることができる人は、本当に強い人、勇気のある人だと思います。では、うそや失敗を取り返すチャンスはないのでしょうか。いくらでもあります。正直に生きるということは、今までの自分を“リセットするチャンス”も入っていると思います。

正直に生きることは、自分一人ではできません。正直な気持ちというのは、そこに誰かがいて初めて成り立ちます。その誰かとは、友だち、先生、兄弟、家の人、自分のまわりにいる人たちです。正直に生きることで“信じる”という気持ちが生まれます。「自分はまわりの人に対して正直に生きている。まわりの人みんな正直な人だ。だから信じることができる」ということです。“信頼”が生まれるのです。すごいよね。「一生懸命はかっこいい」と話をしていますが、間違いなく『正直に生きることもかっこいい』ですよ。

### 手洗いをした後の手を見よう



やっとなの風 日本酒か

身体測定をした後、手洗い指導を行いました。特別なクリームを手塗り込み、手洗いをした後にブラックライトで照らしてみると、汚れに見立てたクリームが落ちてないところを光らせるのです。見えない汚れを“見える化”して、正しい手洗いのやり方を身に付けさせました。思いのほか力を込めることと、爪の間を洗うことがポイントになります。見えないものが見えると、説得力がありますね。

# 自分の命は自分で守る 後輩の命もわたしが守る

地震避難訓練を行いました。今回の訓練は、事前に朝会(月)で、今週のどこ



かの授業以外の時間に行うと予告がされていて、月曜日にシェイクアウト訓練も(写真上)行いました。

9月9日(水)2と3時間目の間の放課に、緊急地震速報の放送が流れました。子どもたちはそれぞれが活動している場所で、シェイクアウトの体勢をとりました。わたしは1階にいたので、1年生教室、階段下、保健室、運動場の様子を見に行きました。どこも素早くシェイクアウトの体勢をとっていました。その後運動場へ避難をしました。4分40秒で全員の避難が完了しました。素早く避難できました。



地震が発生した時、一部の場所にしか教員はいませんでした。写真下を見てください。運動場で遊んでいた子どもたちが全員運動場の真ん中に集まってシェイクアウトの体勢をとっています。そこに教員はいません。6年生が

後輩を誘導し避難させたのです。最高学年として何をしなければいけないのかを、瞬時に判断し、行動に移しています。当たり前のことなのかもしれませんが、素晴らしいことですし、何だか誇りに思えました。6年生、有脇小学校を、後輩を頼むね。

## 【学校応援団】躍動す!

2学期が始まり、いろいろな場

面で【学校応援団】のみなさんが活躍してくださっています。

「剪定」「読み聞かせ」「地域学習」「稲作」とどのボランティアも暑い中、活動してくださっています。みなさんのおかげで

充実した活動をする事ができます。ありがとうございます。

